

まちの話題



9月7日 総合防災訓練

午前7時30分「震度7の地震が発生」という想定で防災訓練が市内全域でスタート。各家庭の安否を知らせるタオルがけ訓練を皮切りに、地域ごとに消火・救出訓練、避難所開設訓練などが行われました。今年のモデル地区である吉浜小学校区では、小学校を会場に、避難者名簿記入訓練・簡易水槽給水訓練・バケツトイレ使用訓練・情報伝言板記入訓練などが実施されました。

南中学校の生徒も大勢参加し、避難誘導や伝令役を担い、若い市民としての頼もしさを発揮していました。全力疾走で拠点に向かう姿を見た方も多いのでは？

しかし、実際に幼児や高齢の方と移動したり、非常用の資器材を手にする中で、参加した方々からは「思ったより大変だね。」「本当の災害の時に落ち着いてできるかな。」という声も聞こえてきました。家庭での備蓄や耐震など自助の課題とあわせ、再度地域の防災を考える機会になりました。力をあわせて災害に強いまちにしていきましょう！

